

21種類の失敗パターンを、避けるためのポイントとは？

損しないための退職手続きサポートブック

Ver.3.0

【購入者特典】退職手続きに関する5回までのメール相談ホットライン
(当ブック巻末に記載のメールアドレスにご質問ください)



住まいと保険と資産管理

株式会社 住まいと保険と資産管理

<http://www.mylifenavi.net>

<http://www.tainavi.net>

監修 CFP認定者 白鳥光良

執筆 CFP認定者 深谷康雄

<作成者まえがき>

まもなく退職を控えている皆様、準備は万端でしょうか？
様々な手続きに関する不安はありませんか？

退職の手続きについて会社から一通りの説明はあったが、何となく自信がない方や、
理解する時間を十分に持てないまま退職日が近づいてきている方は、注意が必要です。

なぜなら、退職後に取らなくてはならない諸手続きは、原則自分でするものだからです。

もちろん、会社が替わって手続きしてくれるものもあります。

特に、退職後再雇用となる場合や、退職後直ちに再就職が決まっている人の場合は、
それほど手間はかかりません。

それでも、次のような項目は事前に確認しておく必要があります。

- ★ 国の年金は、どうしたらもらえるのか。
- ★ 退職金はどのようなもらい方をしたらよいのか。
- ★ 退職金にかかる税金はどうなるのか。

また、退職後、年金生活に入る場合や、次の就職先が決まっていない場合には、
これらの項目に加えて、自分で選択し、自分で手続きをしなくてはならないことが多くあります。

たとえば、

- ★ 退職後に加入する健康保険は何を選択すべきか？
- ★ 失業給付をもらうための手続きはどうするのか？
- ★ 退職した後の税金は一体どうなるのか？

などです。

このようなポイントをはずすと、期待していた給付がもらえなかったり、思わぬ負担が発生したりと、
退職後のキャッシュフローに影響を及ぼすことがあります。

事前に知らなかったために、いくつかの選択を誤ってしまった、

受け取れるべきものの請求を逃してしまった、

などということのないように準備万端ととのえて、退職に臨みたいものです。

この本では、退職時に気をつけなくてはならないポイントを

失敗 : 損するパターン

Action : 損を避けるために必要な準備や手続き

に分けて整理しました。

また、それぞれのポイントを理解しやすいように、損するパターンを「**Fさんの失敗事例**」、失敗しないために必要な行動を「**Sさんの成功事例**」として載せてあります。

加えて、事例に関するポイントを「**解説**」欄で説明したほか、手続きに関して詳細説明のあったほうがわかりやすい項目については、「**制度解説**」欄などを設けて、少し詳しく記載しました。

また、e-book の特徴を生かして、手続きに関連する**公的機関等のホームページ等**のリンクを多数貼ってあります。

この e-book の内容や、退職に関して会社で説明はあったが、よくわからないこと、また、今さら人に聞けない基本的なこと、役所には聞きにくいこと、などがあれば、**インターネットメールによる無料質問サービス**をご活用ください。**最大5回まで利用可能**です。(巻末参照)。

それでは、この「退職手続きサポートブック」をプリントアウトして手元に置いて、不安のない退職手続きを進めていかれることを強く願っています。



退職手続きを専門分野とするファイナンシャルプランナー 深谷 康雄

<目次>

§ 1. 損しないための退職後の健康保険

【失敗01】 医療費がいつもの3倍以上！ 体もサイフも痛い！

【失敗02】 保険料が割高な方の制度を選んでしまった！

【失敗03】 ニンケイの加入手続き申込期間が過ぎてしまった！

【失敗04】 ○○○○を忘れてしまい、資格を失ってしまった！

【失敗05】 1度前納したら取り戻せない保険料があった！

§ 2. 損しないための退職後の失業給付

【失敗06】 時間切れ！ 失業給付がもらえなくなってしまった！

【失敗07】 失業給付がストップしてしまった！ その1

【失敗08】 失業給付がストップしてしまった！ その2

【失敗09】 うっかり「再就職手当」をもらい忘れた！

【失敗10】 恐怖の「3倍返し」となってしまった！

§ 3. 損しないための年金の受け取り方

【失敗11】 いつまで待っていても、年金がもらえない！

【失敗12】 受給資格を満たしていないので、あきらめるしかない？

【失敗13】 奥さんの変更手続きを忘れてしまった！

【失敗14】 ○○○の提出を忘れたら、年金の支給が止まった！

【失敗15】 ○○給付をもらったら、国の年金が止まった！

§ 4. 損しないための退職金の受け取り方

【失敗16】 一時金で受取って○○○○をしたら大損した！

【失敗17】 実はよくある？ 年金制度が解散になった！

§ 5. 損しないための退職後の税金に関する手続き

【失敗18】 あれっ？ 退職金から天引きされる税金額が大きい！

【失敗19】 天引きされた○○税が、納め過ぎたままになっている！

【失敗20】 収入が激減した翌年、○○税が大きくてびっくり！

【失敗21】 ある書類を出さないと、年金から引かれる税金額が大きい！

§ 1. 損しないための退職後の健康保険

退職して、同じ企業に継続雇用となる場合や、直ちに他の会社に再就職する場合には、会社にて健康保険の手続きをしてもらえるので、特に問題となることはありません。

しかし、いったん会社を離れる場合や、そのまま個人事業を行う場合、年金生活に入る場合などは、以下の項目に注意が必要です。

【失敗01】

医療費がいつもの3倍以上！ 体もサイフも痛い！

失敗事例

Fさんは退職後、あとで健康保険の加入手続きをしようと、のんびり構えていたら、急に病気になってしまった。

退職後、健康保険の加入手続きを済ませていなかったため、かかった医療費を、いったん全額自分で支払うことになってしまった。

解説

健康保険に加入していれば、医療費の本人負担分は3割です。健康保険に加入していないと、通常なら3000円程度の医療費でも、1万円近い出費となるため、大きな負担となります。

退職後の健康保険は、すぐに再就職する場合を除いて、自分で選択し、自分で手続きをしなくてはなりません。

病気やケガは突然襲ってくるもの。

このような事態を避けるためには、不測の事態が起こっても慌てないように、退職後は速やかに加入手続きを済ませてしまいましょう。

加入手続きを済ませないまま、医者にかかった場合には、いったん全額自己負担となりますが、

後日、健康保険からの給付分を遡って請求することができます。

その場合でも、保険料は遡って納める必要があるため、その分の出費もかさむことになるので、注意が必要です。

Action 1-01

退職後は速やかに健康保険の加入手続きを済ませる。

成功事例

退職後、直ちに健康保険の手続きを済ませていたSさん、しばらくしてFさんと同じ病気にかかり、病院に行ったが、これまでどおり、3割の自己負担額で済んだ。

★公的医療保険全般のことなら社会保険庁

<http://www.sia.go.jp/seido/iryo/index-top.htm>

★国民健康保険のことなら国民健康保険中央会

<http://www.kokuho.or.jp/kokuho/#top>

【失敗02】

保険料が割高な方の制度を選んでしまった！

失敗事例

Fさんは退職後に入る健康保険について、
いくつかの選択肢のあることをよく知らず、国民健康保険に入った。

ところが、後になって、自分にとって保険料の負担が軽くなる、
他の健康保険の制度があることを知った。

●この続きは、著者にメールで相談できる「退職手続きサポートブック」をご購入ください。
満足保証制度(100%返金保証)がついているので、購入するリスクはありません。

→ <http://www.mylifenavi.net/retire.html>

退職後の手続きに少なからず不安をお持ちの方は、手元に1つ置いて損はありません。

メール1本で専門家に聞ける安心感は、お金には換算できない価値があります。